

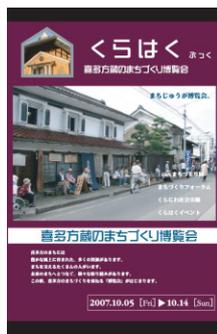
Urban Design Lab. Magazine

東京大学都市デザイン（西村・北沢）研究室
工学部都市工学科/工学系研究科都市工学専攻
http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/index-j.html

編集長：塩澤諒子
編集委員：石井宏典 蛭灰谷愛 平岡惟 増田圭輔 矢原有理

喜多方くらはく開催 プロジェクト7年間の集大成、博覧会として実る

text_kakibaya



2001年の文化庁委託調査をきっかけに都市デザイン研究室に喜多方プロジェクトが発足してから早7年。その集大成として、また喜多方のまちづくりが新たな一步を踏み出すための総まとめとして、喜多方蔵のまちづくり博覧会「くらはく」が10月5日～14日、10日間にわたって開催された。

研究室内外から多数の来訪者で賑わった今回のくらはく。まちづくり展に限っても1500人以上の来訪者があるなど、喜多方の魅力とまちづくりの歩みを発信する好機会となった。

複合イベントの「くらはく」。期間中は、喜多方じゅうの蔵内外の空間で多種に渡るイベントを実施。

まちづくり展

喜多方の魅力紹介やプロジェクトの活動・提案、まちづくりに関わる人々の声などを展示。メイン会場に加え、地区会場が2つ、さらにまちなかにも、「サテライトスポット」として蔵紹介やその場所に関する提案などのパネルを設置。計200枚のパネルを展示した。

くらにわ社会実験

蔵のまちなみを堪能し、ゆったりと足を休める場所として「くらにわ」を設置した。椅子やパラソル、植栽によって設えられたくらにわで一休み。同時に行われたカフェやおにぎりの試食販売なども好評だった。



まちづくり展メイン会場



来訪者に対応するM2横田



くらにわで憩うお客さん



おにぎりの販売所

小田付・夜の幻燈会

おもてなしの花小径

語り合いの様子

盛況のフォーラム会場



くらはくイベント

夜の幻燈会や蔵バー、ベロタクシーによるツアーなど。市街の2地区をつなぐ歴史ある道には、沿道住民の協力のもと、草花に彩られた「おもてなしの花小径」がつけられた。

まちづくりフォーラム/語り合い

計4回の語り合い（分科会）で各地域やテーマについて意見を出し合い、13日の全体フォーラムではそれらを総合して、喜多方の将来について議論した。

ならまちワークショップ 古都にて作る町家再生プラン

text_lshii

9月24日から1週間、奈良女子大学・増井研究室と共同で行う、奈良・ならまちの町家再生ワークショップに本研究室の学生が招かれました。参加者は、中島助教率いるM2石井・ポンサン、M1北村・大道・ナッタポンの5人です。

WSの目的は、ならまちに残る町家「松矢家」周辺の再生プランを、計10人が3班に分かれ提案すること。各提案は、町家の構造を意識しつつ、セミナーハウス・児童館・オフィスといった機能をコンパクトに盛り込んだ案となりました。完成した各案については30日のシンポジウムで発表をおこないました。

実質3日の作業、急造プランにはいくつも綻びがありましたが、再生町家の見学や町家の実測調査等、ふだん東京ではし得ない経験ができたのは大きな財産でした。また、作業はおもに奈良女子大がリフォームに携わった町家「奈良町セミナーハウス」で行われました。古都の秋風を感じながら、畳の上で行うグループワークも、なかなか味がある体験でした。

夏休み最後の1週間、このような貴重な機会を設け、支えて下さった奈良の皆さん、本当にありがとうございました。



M1 インターン体験記 vol.2 都市再生機構

M1 北村 修一

OBの吉井さん（竹中から出向）もいらっしゃるUR東京都心支社業務第一ユニットで、2週間活動させてもらいました。

1週目は事業紹介（港区・品川区・大田区の物件）で都内を巡る、2週目は仕事手伝いという感じです。

会社が大学と違うのは、やはりプロジェクトにおいて実利が優先されるということ。「高層ビルが嫌い」などと社内です言ったりしましたが、高層ビルも経済的なことを考えると、やむを得ない部分もあるのかなと思い、実際にできるかを考えることが重要だと気づかされました。

社内はアットホームな雰囲気。都市計画、就活の相談から人生相談まで(!?) 色々と言語合った2週間でした。

編集後記

今号は発行が大幅に遅れてしまい、全国三千万人の都市デザイン研マガジンの読者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。秋風は厳しさを強め、太陽は早寝遅起きの今日この頃、新米・秋刀魚に早生みかん、秋の味覚をしっかりと食べて、風邪にはくれぐれもお気をつけくださいませ。

第10回研究室会議

text_lshii

今学期初めてとなる第10回研究室会議は、10月3日、8階会議室で行われた。修士論文完成を来春にひかえるM2陣の研究テーマは以下の通り。

ポンサン・ウィチエンプラディト

「日本における屋台の系譜と中心市街地活性化への展開に関する研究(仮)」

ファズリ・ビンズビ

「PLACE MAKING WITHIN THE CONTEXT OF WATERFRONT DEVELOPMENT: A STUDY ON THE PLANNING AND DESIGN OF ODAIBA WATERFRONT CITY, TOKYO」

塩澤諒子

「近代以降の「広場」の計画思想と空間の変遷に関する研究 帝都復興・戦災復興計画における小広場空間に着目して」

後藤健太郎

「日本の都市における叉路の空間的特性を踏まえた叉路の景観形成に関する基礎的研究 東京都心部の叉路を対象として」

伊藤雅人

「東京山の手における小河川とその周辺密集市街地との関係性に関する研究」

今年度の修士研究は都市空間への興味が強く、建物の「図」より、広場・空地など「地」からテーマを切り拓いたものが多い。

長くなってきた論題からは、具体化してきた研究の成果と各自の意気込みが見て取れる。



箱根・Naraya Cafe オープン OB安藤氏がリノベート

D 田中 暁子

9月23日、OBの安藤義和さんが箱根宮ノ下にNaraya cafeをオープンしました!

このカフェはなんと、安藤ご夫妻とその仲間達が力を合わせて奈良屋旅館の従業員寮をリノベーションしたお店なんです。プレオープン中の8月末にデザ研同期4人組で訪問しました。足湯につかりつつ箱根の緑を眺めながら飲むビールは最高でしたよ!

カフェ店内で奈良屋旅館ゆかりの家具に囲まれてゆっくりくつろぐのもまた愉しきかな。みなさまも是非都会の疲れを癒しに行ってくださいまし。

詳しくは、<http://www.naraya-cafe.com/>



text_lshii